

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日:2025年 11月 22日

事業所名: 放課後等デイサービスえーるきた

事業所職員及び保護者の方の御意見を踏まえ、自己評価の結果を公表します。
評価を踏まえて、事業所の運営における課題点及び改善すべき点を確認し、今後の運営に活かしていきます。

区分		チェック項目	事業所の現状評価			保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標		
			はい	どちらとも いえない	いいえ	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない			
環境・ 体制整備	1	利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	5	1	0	ブレイルーム、サブルーム、SST用の個室と活動内容に応じて分室をしている。またカムダウンで必要な場合はパーテーションで空間を区切ったり、2階を利用したりしている。イベント等で人数が多い時は2階を利用する場合もある。	24	5	1	0	〇スペースが狭い(どうしようもないが)〇人数の多い日は狭く感じる	引き続き人数や状況に応じて2階や外庭も活用しながらスペースを使っていく。
	2	職員の適切な配置	6	0	0	基準に沿って必要人員を確保している。玄関に勤務形態表を掲示している。	26	2	0	2		引き続き人員の確保と、勤務形態表の掲示をしていく。
	3	本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障がいの特性に応じた設備整備	5	1	0	必要な時は活動内容によって空間を区切り視覚的に示している。また玄関、トイレ、階段に手すりを設置している。情報伝達は個別のスケジュールやイラストカード等を使って視覚的に伝えるようにしている。	26	4	0	0	〇トイレの場所が分かりにくい。長く通所しているといいが、玄関から見えないので見える所に表示があるとよい。〇トイレが狭く、肢体不自由の子には援助の時使いにくい。	利用児童に分かりやすい表示方法を検討していく。トイレの広さは変えられないので、備品の配置を変える等をして使いやすいよう工夫していく。
	4	清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	6	0	0	朝夕決まった清掃や消毒を行っている。	26	2	1	1	冬が寒い。フローリングが冷たく体が冷える。	引き続き清掃と消毒を行っていく。冬場は暖房、電気カーペット、ジョイントマット等を使い、冷えないように気をつけていく。
業務改善	1	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	6	0	0	年度初めに事業所内でスタッフ個人の目標を設定して振り返りを行っている。問題やヒヤリハット事例が起きた時はスタッフで改善を話し合う時にPDCAサイクルを取り入れている。						引き続き行っていく。
	2	第三者による外部評価を活用した業務改善の実施										
	3	職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	6	0	0	定期的に様々な分野の研修を行っている。また週2回ミーティングや研修、事例の検討や共有を行っている。						引き続き行っていく。
適切な支援の提供	1	適切に支援プログラムが作成、公表されているか	6	0	0	支援プログラムを作成し、HP上に掲載している。	28	0	0	2		引き続き行い、定期的に保護者様に向けてお便りで周知していく。
	2	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	6	0	0	契約時にアセスメントを行い、本人や家族の意向を確認しながら計画の作成をしている。その後もモニタリングや支援会議等の内容を確認したり必要時に相談等を行ったりし、定期的に計画の見直しをしている。	30	0	0	0		引き続きアセスメントシートを使用しながら保護者様からの聞き取りをし、ニーズや課題について共通の認識を持てるようにしていく。
	3	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	5	1	0		30	0	0	0		引き続き支援計画の見直し時期に保護者様に達成度を伝え、支援目標についてや意向、要望等の確認を行っていく。
	4	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	5	1	0	個別SSTでそれぞれに合った個別の活動をしている。クラブ・遊び・就労訓練・おでかけやイベント等で集団活動をしている。個別活動、集団活動を取り入れた計画を作成している。						引き続き計画を作成し、連絡ノートにて実際の活動の様子を保護者様に伝えていく。
適切な支援の提供(続き)	5	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	6	0	0	計画に沿った活動目標を立て、スタッフ間で共有し実施している。計画と支援が結びつくようスタッフ間で話し合いや情報の共有をしている。	30	0	0	0		事業所内で行った支援内容について連絡ノートやモニタリング等で保護者様に伝えていく。
	6	チーム全体での活動プログラムの立案	5	1	0	スタッフで話し合って活動を決めたり、役割分担を行いながら活動の計画・準備・振り返りを行っている。						引き続き行っていく。
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	5	1	0	ワーク・クラブ・遊び・SST・就労訓練・おでかけ・イベント等を取り入れている。	27	2	0	1		引き続き行っていく。また活動内容については連絡ノートや送迎時等に保護者様に伝えていく。
	8	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	6	0	0	上段の内容に加えて長期休暇や休日には、体験的な学習(買い物、お店での注文、公共の交通機関を利用する等)を行っている。						引き続き行っていく。
	9	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	6	0	0	朝礼にて各スタッフの役割とその日の活動内容、利用児童の近況を確認している。また、事業所間でも情報の共有を行っている。						必要な情報の共有の徹底に気をつけて引き続き行っていく。
	10	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	6	0	0	終礼時にその日あった事を振り返り、情報共有や問題の解決について話し合う時間を持っている。またケースノートや日誌、ケース記録をつけている。						引き続き行っていく。
	11	日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	6	0	0	連絡ノート、個別の活動記録、日誌、ケースノート、ケース記録のほか、SST・就労体験(訓練)・イベントの記録、モニタリング・支援会議・相談等の記録をとり、スタッフ間で共有している。						引き続き行っていく。
	12	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	6	0	0	定期的にモニタリングや聞き取りを行い支援計画の見直し、作成を行っている。またスタッフ間でその内容を共有している。						引き続き行っていく。

区分		チェック項目	事業所の現状評価			保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標		
			はい	どちらとも いえない	いいえ	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見	
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	6	0	0	担当者が活動時の様子を記録としてまとめたリスタッフで気になる事等を確認し合ったりして事業所内での共通の認識を持った上で、会議に参加している。						引き続き行っていく。
	2	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合） 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	6	0	0	学校の懇談会に参加させてもらい、学校での様子を聞き取ったり、モニタリングで他事業所の様子を聞いたり、福祉サービス利用時の様子を聞いたり、当事業所での様子を伝えたりして情報を共有している。						引き続き行っていく。
	3	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合） 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	6	0	0	直接主治医や医療機関とやり取りをした事はないが、相談員さんを通して現状を共有して頂いている。						引き続き行っていく。
	4	児童発達支援事業所及び放課後等デイサービス事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校（小学部）等との間での支援内容等の十分な情報共有	5	1	0	就学前に可能な限り児童発達支援事業所での様子を共有して頂き、引継ぎを行っている。またサポートファイルの確認や契約時のアセスメントで自宅や園での様子を聞き取っている。						引き続き行っていく。
	5	他の障害福祉サービス事業所等への円滑な移行支援のため、それまでの支援内容等についての十分な情報提供	6	0	0	保護者様の要望があった場合に、生活介護事業所や就労継続支援事業所の方に当事業での様子を伝えたり、見学をして頂いたりしている。						引き続き行っていく。
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	6	0	0	研修に参加したり、支援会議や子ども部会等に参加したりして連携をとっている。						引き続き行っていく。
	7	児童発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合は放課後児童クラブや児童館との交流など、障がいのない子どもと活動する機会の提供	3	2	1	公園でおでかけをした際に、地域の児童と遊んだりやりとりをする事があるが、回数は少ない。	15	2	2	10	聞いた事がないので機会があるかどうか分かりません。 無回答…1	地域の施設へのおでかけやイベントに参加する等で関わる機会を持てるよう検討していく。またおでかけ等で交流があった場合は連絡ノートで伝えていく。
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	5	0	1	イベント時のボランティアを地域の方をお願いしている。（夏祭りやクリスマスパーティーのボランティアやハロウィンでお菓子をもらいに行ったりしている）						引き続き行っていく、地域の方達との関係性を作っていく。
保護者への説明責任・連携支援	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	5	1	0	契約時にアセスメントを行い、本人や家族の意向を確認して支援内容を決定している。利用負担については重要事項説明時に伝え、変更があった場合はその都度機関紙に記載している。また問い合わせがあった場合は確認して対応をしている。	29	0	0	0	無回答…1	引き続き行っていく。
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	5	1	0	支援計画について個別に説明し、本人や家族の意向を確認して同意の署名を頂いている。	29	1	0	0		丁寧な説明が出来るよう気をつけながら引き続き取り組んでいく。また不明な点があれば問い合わせしやすいような声かけを行っていく。
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	4	2	0	今年度は保護者会にてペアレントサポートプログラムを行い、その後保護者様同士の交流をして頂いた。	20	1	2	7		保護者会で何度か勉強会を行っている。引き続き定期的に行っていく。
	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	6	0	0	連絡ノートや送迎時に活動内容や気づいたこと、その日の様子を伝えるようにしている。また必要に応じて電話で様子を伝えたり、自宅や学校での様子を聞いたりして共通理解を持てるようにしている。	28	0	0	0	無回答…2	引き続き行っていく、保護者様からも気軽に問い合わせをして頂けるよう気をつけていく。
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	5	1	0	日頃の様子を伝える際に、必要であれば相談の機会を持つようにしている。	26	2	0	0	無回答…2	こちらから保護者様に声をかけ、相談しやすいきっかけができるよう努めていく。悩みや困りごとがそのままにならないよう対応をしていく。またスタッフ間でも共有をしている。
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	5	1	0	定期的にお茶会を開催し、保護者様同士の交流ができるようにしている。	25	0	0	3	保護者会があるのは知っているが日にちが合わず参加できないので保護者同士の連携が出来ない。 無回答…2	現在は土曜日に開催しているので、平日の開催等も検討していく。
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	5	1	0	スタッフ間で苦情があった場合の体制を周知している。また保護者様には契約時に説明をしている。玄関に苦情BOXを設置している。	26	0	0	2	以前お友達から手を出されたことがあった時、きちんと説明できなかったのがよかった。 無回答…2	引き続き契約時に説明を行っていく。また定期的に機関紙等で周知を図っていく。
	8	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	5	1	0	利用児童には伝わりやすいように個別で伝えたり、視覚カードや個別のスケジュール等を使用している。保護者様には送迎時にその日の様子を伝えたり、必要に応じて個別に説明等を行っている。	28	0	0	0	無回答…2	引き続き行っていく。
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	6	0	0	機関紙を年に4回発行し、活動の報告や変更した事、災害時について、取り組みに関して周知したい内容を掲載している。行事予定は毎月配布している。	25	3	0	0	無回答…2	引き続き行っていく。
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	6	0	0	スタッフは入社時に個人情報取り扱いに関する誓約書について説明し、同意をしている。また定期的に研修を行っている。保護者様には契約時に個人情報の取り扱いについての説明を行い、同意書に署名を頂いている。	28	0	0	0	無回答…2	引き続き行っていく。

区分		チェック項目	事業所の現状評価			保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標			
			はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点		はい	どちらとも いえない		いいえ	わからない	保護者の方のご意見
非常時等の 対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、 感染症対応マニュアルの策定と、職員や 保護者への周知徹底	6	0	0	職員に対しては各マニュアルの設置 場所を周知し、すぐに確認ができるよ うにしている。また研修や訓練を定期 的に行っている。保護者様に対して は、HPに各マニュアルを掲載したり、 機関紙にてお知らせしたりしている。	26	1	0	1	無回答…2	引き続き行っていく。	
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避 難、救出その他必要な訓練の実施	6	0	0	マニュアルに沿って様々なケースを 設定してスタッフの研修や訓練をして いる。また毎月1回利用児童と一緒 に避難訓練を実施している。	27	0	0	1	無回答…2	引き続き研修、訓練を行っていく。また避難訓練 の内容や実施時の様子を連絡ノート等で保護者 様に伝えていく。	
	3	服薬や予防接種、てんかん発作等の子 どもの状況の確認の実施	6	0	0	アセスメントで必ず確認をしている。 薬の服用が始まった時、量の変更が あった時、終了した時、内容が変更し た時は利用時の様子を含めて情報 を共有するようにしている。またてん かん発作があった場合は記録をと り、保護者様に詳細を伝えている。発 作が多い時期は保護者様や学校の 先生と様子を伝え合って情報を共有 している。							引き続き行っていく。
	4	食物アレルギーのある子どもに対する医 師の指示書に基づく適切な対応	5	1	0	契約時のアセスメントで必ず確認して いる。現在医師の指示書があるよう な利用児童はいないが、アレルギー についてはスタッフ間で共有してい る。							引き続き確認を行い、スタッフ間での共有を徹底 していく。
	5	安全管理の徹底	6	0	0	安全計画に沿ってスタッフの研修、訓 練を行っている。またヒヤリハット事 例について検討したり、その内容を 事業所間でも共有している。							引き続き行っていく。
	6	家族等との連携を図るため、安全計画に 基づく取組内容についての家族等へ周知	6	0	0	各マニュアルはHP上で閲覧できるよ うにしている。また機関紙にてその旨 をお知らせしている。また災害時等 の情報の共有の仕方(171伝言ダイ ヤル)についても機関紙にてお知ら せしている。	26	0	0	2	無回答…2	引き続き行っていく。	
	7	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内 での共有の徹底	6	0	0	事業所内で再発防止の話し合いを し、報告書を作成している。またス タッフ間で共有し、併用している利用 児童に関する事例においては事業所 間でも情報を共有している。							引き続き行っていく。
	8	虐待を防止するための職員研修機会の 確保等の適切な対応	6	0	0	年に1回以上全スタッフが参加して虐 待防止に関する研修を受けたり、毎 月虐待防止に関するチェックシートを 全スタッフが記入して振り返りをし たりしている。また定期的に委員会を 開催し、内容を周知している。							引き続き行っていく。
	9	やむを得ず身体拘束を行う場合における 組織的な決定と、子どもや保護者に事前 に十分に説明・了解を得た上での児童発 達支援計画又は放課後等デイサービス計 画への記載	6	0	0	契約時に説明をし、必要な場面に限 り安全面の確保のため身体拘束を行 うことに同意を頂いている。(支援計 画作成時に身体拘束について具体 的に記載している)身体拘束を行った 場合はカンファレンスをし、記録を残 している。また身体拘束適正化委員 会を設置し、定期的にケースの検討 を行い、スタッフ間で共通認識が持て るようにしている。							引き続き行っていく。